加議会だより

[題字] 竹下 愛海さん (森安行政区・中2)

















E	日練習が	र्यान्या	\$
999	900	90	
PEANUT, PEANUT	To July		
TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PAR			
			The second
and the second	成長を感じる	ひとときでし (コメントは2	(P)

9月定例会議

第9回 議会報告会

日時 **11**月**18**日(金) 午後7時より 場所 コミュニティセンター 1 階 多目的ホール 町民のみなさまに議会の活動状況 について報告し、その後意見交換 を行うことにしています。 多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

今年度の議会だよりの表紙は、≪大好き かわさき町≫がテーマです。 みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください。 [お問合わせ] 川崎町役場 議会事務局 ☎72-3000 (内線318·319)

老朽化した愛光園建で替え気で 魚楽園公衆用トイレなどを製造

決算総額は、歳入111億8.875万円、歳出99億1.282万円で、翌年度へ繰り越すべ き財源1,387万円を除き、実質収支額は12億6,206万円の黒字決算となりました。

んな事業が行わ

総務費

10億9.253万円

5年に1度の国勢調査、個人番号カード交付事業、統一地方選挙、ニューイヤーコンサート、 ふれあいバス運行、第3回暴力団等追放総決起大会の開催など。

民生費

39億5.969万円

障がい者の地域社会参加支援、子育て支援センター、老朽化した愛光園の建て替え工事を 2カ年事業として完了など。

衛生費

8億2,262万円

引き続き総合健康診査の無料化を実施、環境パトロールによる不法投棄監視、地球温暖化防 止対策の一環として住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助など。

労働費

1.222万円

本町独自の雇用対策として町道敷きの草刈作業による雇用確保など。

農林水産費

1億928万円

中山間地域直接支払い事業(山間地の棚田など困難な耕作に対する補助)、荒廃した森林の 整備、新規就農者支援事業など。

商工費

1億2.349万円

プレミアムつき商品券助成、戸谷山荘、キャンプ場などの運営、盆踊り・花火大会への助成、 観光名所「魚楽園」公衆用トイレ改築など。

土木費

11億7.075万円

上豊州団地改善、豊州団地、大峰団地の建て替え事業、高見団地二号線など7ヶ所の道路 改良など。

消防費

2億2,955万円

消防団と協力し火災予防運動を展開、火災出動19回、救急出動1043回。

教育費

6億3.248万円

「はばたけ塾」(無料塾)を引き続き実施、小中学校の児童生徒用防犯ブザーの購入、快適な 図書館にすべく空調設備全面改修、池尻中学校のトイレ改修など。

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

「かがやけ川崎応援寄付金(ふるさと納税)」26年度の152万円から21万円と大幅 にダウンしました。(28年度は今年の9月現在で1.600万円に達する伸びとなって います。)

	歳入	歳出	差引残
学校給食センター	1億7,124万円	1億7,531万円	△407万円
住宅新築資金等貸付事業	2,825万円	5億8,964万円	△5億6,139万円
国民健康保険事業勘定	24億5,877万円	30億6,763万円	△6億886万円
後期高齢者医療	2億608万円	2億307万円	301万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。



本年度の主な事業は、川崎浄水場改築工事実施設計業務委託、岩 鼻団地一号線配水管布設工事でした。

前年度と比較し事業収益、事業費用ともに増加し、経常利益は 530万円減少しました。

当年度純利益は、1,124万円の黒字決算となっています。

耐力度調査委託料など回

歳入歳出9億3,910万円増

総額108億2,227万円となる

歳出の主なもの

○個人番号カード交付事業費交付金 ・・・・・・・・・・・・・・ 429万円
○社会福祉協議会運営費交付金····································
○老人福祉センター運営費助成金・・・・・・・・・・・・・・・241万円
○水道事業会計長期貸付金・・・・・・・・・・・・・・・ 750万円
○上水道事業会計繰出金 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1,379万円
○川崎中学校校舎耐力度調査委託料 ·························500万円
○屋外体育施設管理費(高架水槽、グランドゴルフ場修繕料)・・・・・・・・215万円
○ B & G施設管理運営費(カローリングセット購入費) ・・・・・・・ 163万円
○財政調整基金積立金・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8億6,483万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

3

学校統合に関する



町内3中学校統合に関し、広く意見を集約し、検討するための委員会が、討論採決の結果、 設置されました。

成討論

繁永英樹議員

莫大な資金を使うので、町全体から広く 意見を求め、経緯や今後の方針を検討する ために設置は必要。

原節雄議員

川崎町立病院建設の際には、特別委員会 を設置し真摯に取り組んだ。今回も、将来 の子どもたちのため、親の意見を広く聞 き、それに対する説明も必要になる。1つの 委員会や全員協議会では対応が困難。

千葉加代子議員

将来の子どものため、多方面からの意見 が求められる。委員会に説明にきた段階で は修正が困難。3つの常任委員会が一緒に なり、検討し、建設的な意見を取りまとめ る場が必要。

期間は平成31年4月30日まで 委員は7名(3常任委員会から2名、予算 決算委員会から1名)

委 員 長 千葉加代子議員 副委員長 松岡久代議員

反|対|討|論

今まで3つの特別委員会を設置してきた が、混乱が多く、十分な結果がでなかった。民 生文教委員会で十分な審査をすれば良い。

西山賢俊議員

地元行政区は受け入れを了承している。 民生文教委員会、全員協議会で話し合いを することで対応できる。

大峰改良住宅改善 共同住宅A号棟とB号棟の 建設主体工事の 工事請負契約を可決

追加議案として提出さた工事請負契約案件に ついて、全員協議会で説明を受けました。入札は 一般競争入札(JV方式)で行なわれました。

入札.結果

A号棟	契約金額	378,739,800円
	契約の相手方	成定・中野 特定建設工事共同企業体
B号棟	契約金額	357,480,000円
	契約の相手方	九特・村坂 特定建設工事共同企業係

※IV(ジョイントベンチャー)方式とは··· 大手業者と町内業者が組んで入札する方式のことです。



○請願者:向井厚子

○紹介議員:千葉 加代子・寺田 響

「少人数学級の推進」「義務教育費 国庫負担割合の引き上げ」を求める 意見書採択の要請は、子どもたちの 教育条件整備のため、全会一致で採





地方公務員の退職管理制度を新たに導入

離職前5年間の職務に属するものに関し、離職後2年は職務上の行為を禁止していまし たが、離職前の5年間だけでなくそれ以前に管理職に就いていたものについても規定を設 け、より厳しくしようとするものです。

川崎町行政事務区域の名称変更

県営西本町団地と県営西川崎団地を新光区としていましたが、団地の建て替え等に伴 い、西川崎団地行政区となりました。

川崎町コミュニティ・スクール協議会を設置

協議会の設置に伴い、委員の報酬及び費用弁償が発生するものです。

川崎町野菜レストランの設置及び 管理運営に関する条例の一部を改正する条例

ベジライスダイニング穀×極を9月30日よりリニューアルオープンすることに伴い、愛 称及び営業時間の変更を行なうものです。

愛称は、町の指定管理制度であることも考慮し、削除。

営業時間は午前11時から午後8時までを、午前11時から午後9時に変更するものです。

町道路線の認定

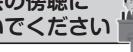
株式会社コメリより 無償譲渡された道路を 町道認定しました。

場所はコメリパワー 店舗と駐車場間の道路 です。

今までは通り道とし て使用してきた道路が 町道に変わります。



議会の傍聴に おいでください



次回定例会(予定)

12月 6日…本会議(初日)

12月 9日…本会議(中日)

12月14日…本会議(一般質問)

12月15日…本会議(最終日)

川崎町議会ホームページ 川崎町議会 検索

http://www.gikai-kawasaki.com.

平成28年度 第3回川崎町議会(9月定例会議)

議案一覧と賛否結果

		賛否の結果	関
議案番号	案 件 名	手 松 繁 大 西 樋 谷 小 千 原 嶋 寿 奈 北 真 岡 永 谷 山 口 口 田 葉 康 井 田 野 代)-I-
発議第1号	中学校統合に関する特別委員会設置決議について	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	P4
発委第2号	川崎町議会基本条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決	
報告第11号	専決処分の報告について (川崎町ひとり親家庭等医療費の支給に 関する条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした	
報告第12号	平成27年度川崎町一般会計継続費精算報告書について	報告のため採決はありませんでした	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (岸野元)	(適任) 簡易表決	
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (吉田砂織)	(適任) 簡易表決	
議案第13号	川崎町教育委員会委員の任命について (田尻清隆)	(同意) 簡易表決	
議案第14号	川崎町教育委員会委員の任命について(瓜野かをり)	(同意) 簡易表決	
認定第1号	平成27年度川崎町一般会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決	P2
認定第2号	平成27年度川崎町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定に ついて	(認定) 簡易表決	Р3
認定第3号	平成27年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算 認定について	(認定) 簡易表決	Р3
認定第4号	平成27年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認 定について	(認定) 簡易表決	Р3
認定第5号	平成27年度川崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決	Р3
認定第6号	平成27年度川崎町水道事業会計決算認定について	(認定) 簡易表決	Р3
議案第15号	川崎町職員の退職管理に関する条例の制定について	(可決) 簡易表決	P5
議案第16号	川崎町行政事務区域の名称を定める条例の一部を改正する条例に ついて	(可決) 簡易表決	P5
議案第17号	川崎町非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改 正する条例について	(可決) 簡易表決	P5
議案第18号	川崎町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決	
議案第19号	町道路線の認定について	(可決) 簡易表決	P5
議案第20号	平成28年度川崎町一般会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決	Р3
議案第21号	平成28年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号) について	(可決) 簡易表決	
議案第22号	平成28年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第 2号)について	(可決) 簡易表決	
議案第23号	平成28年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決	
議案第24号	平成28年度川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)に ついて	(可決) 簡易表決	
議案第25号	平成28年度川崎町水道事業会計補正予算(第1号)について	(可決) 簡易表決	
議案第26号	工事請負契約の締結について(平成28・29年度(継続費)社会資本整備総合交付金事業 大峰改良住宅改善共同住宅A号棟建築主体工事)	(可決) 簡易表決	P4
議案第27号	工事請負契約の締結について(平成28・29年度(継続費)社会資本整備総合交付金事業 大峰改良住宅改善共同住宅B号棟建築主体工事)	(可決) 簡易表決	P4
議案第28号	川崎町野菜レストランの設置及び管理運営に関する条例の一部を 改正する条例について	(修正可決) 簡易表決	P5
請願第1号	「少人数学級の推進」「義務教育費国庫負担割合の引き上げ」を 求める意見書採択の要請について	採択	P4

賛否表の表示は、○賛成、●反対、極欠席、趣退席、廢除斥となっています。

6

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

※除斥とは……利害関係のある議員を、その議案の審議に参与させないことです。

一般質問よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり 町当局の考え方や疑問をただすことです。





問 学校現場の把握を

圏 各学校を回り、町長に報告している

平成28年度全国学力調査 の結果は、前回の平成27年 度より改善はされています。

しかし、これからの教育改善を 推し進めていくには、児童、生徒 達がどのような状況でどんな授業 を受けているのか学校現場の把握 が重要だと考えます。

現場を把握するには、やはり現 場に行くしかありません。

手嶋町長ならびに讃井教育長の トップの目で、学校の現場を確認、把握していただくことは大変 重要だと考えます。

町長ならびに教育長の教育現場 把握についての考えを伺います。

教育長 学校の現状把握について は、教育委員会が毎年、全 校を訪問し、全学年、全学級の授

業を参観させていただいております。

そして、学校の経営方針や重点 目標などを確認し、必要に応じて 改善指導も行っております。

また、町雇用の指導主事が、授業改善指導等のために、毎月、各学校の授業風景を見て、そして感想を述べて帰っております。

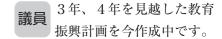
また、校長会、教頭会も月1回 行い、その報告も受けております。 私自身といたしましても、時間が 取れる限り、各学校を回っており ます。

町長 学校現場に直接赴いて、状 況視察したということは、 まだありませんが、校長、それから教頭、教育長から状況について は説明を受けております。



圏 来年3月までに策定

知徳町の教育大綱を基に、 関本的な教育計画が必要だ と感じますが、教育長の考えを伺います。



3月までには出来上がり、平成 29年度から実行されると思ってい ます。

問 光ファイバー整備計画の進捗は

管 具体的な状況に至っていない

本町の光ファイバー整備計画は移住、定住、雇用、教育の場において強力な柱となることは充分承知されているものかと思われますが、現状どこまで計画が進んでいるのか伺います。

町長 今いろいろ検討させていただいておりますけども、今のところまだ具体的な状況にまで至っていません。

財源の捻出も含めて今後具体的 に検討して、光ファイバー設置に 努力していきたい。



▲川崎中学校



問 町内中小企業育成のため 条例設置を

習 設置を視野に検討します

大企業誘致のための土地は ほとんどないとのこと。そ こで、地元中小企業育成、振興の ための条例設置を提案したい。

現状、町と商工会議所、観光協会、農協などの経済団体との交流、連携はどうなっていますか。

町長 中小企業基本法、小規模企業振興基本法に国、県、市町村の役割が示されており、先行事例を参考にし、条例制定を視野に入れ検討します。

町内関係団体とはイベントを通 じて連携していますが、今後は定 期的会議を開催し、より一層連携 を強化したい。

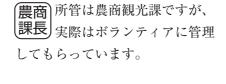
問 条例整備で公園管理と運営を適切に

圏 条例設置は必要

西田原ボタ山跡公園、安宅 議員 田代の森、安宅の滝、真崎 駅跡広場、大ヶ原森林公園、鮎返り親水公園、古墳公園等他にも 色々ありますが、公園の設置管理 条例がありません。整備すべきで はないでしょうか。川崎駅裏も何 かしらの活用を図るべきでは。

一般的に公園の名称で呼ばれている物が町内にいくつもありますが、現状は条例で位置付けていません。正式に整備されたときには設置及び管理条例が必要とは思います。川崎駅裏については本町活性化プロジェクト実行委員会等の協議を受けて整備を検討したい。

議員 公園の区分も含め条例制定 し、もっと投資していただ きたい。ちなみに大ヶ原森林公園 はどこの管理ですか。





▲企業で賑わう田原交差点

問 社会教育基本条例が 必要では

圏 設置の方向で検討したい

本町の社会教育は基本方針 や推進計画に基づき実施されていますが、国の法律を受けて のこと。まず法を受けての条例が 必要ではありませんか。

教育長 これまで本町の社会教育は 施設整備が主で、ソフト面 が不足していたと思います。社会 教育基本条例は設置の方向で検討します。

問 学・社連携の強化を 求む

習 教職員の協力が 芽生えつつある

社会教育の推進には学校教育と社会教育の連携が不可欠。ところが、教職員と町職員との身分の違いからか、そこに壁があるように思います。協力体制をどのように作りますか。

教育長 平成20年に社会教育法が改 正、23年に文科省から様々 な学社連携が示されています。

本町はやや遅れ気味であり、教職員の協力も芽生えたばかりです。今後も具体的に交流連携を模索していきたいと思います。



問 心に響く成人式の在り方を

圏 新成人と一緒に改革していきたい

成人式は20歳からですが、 選挙は今年から18歳となり、成人式も見直される日も遠くないような気がします。20歳を 大人とみなすなら人生のスタートとして心に残る式典であって欲しいものです。

平穏無事に終わる事を願っている関係者の思いは伝わりますが、 お考えをお聞かせ下さい。

町長 過去、講演や軽食等準備し 歓談方式をとった事もあるようです。

本町だけではありませんが、再 三の注意にも関わらず、私語や携帯 電話を扱うなど、主催者や来賓の 祝辞に全く関心を示さない現実が ありますが、心に残る式典である ことは大変大切だと思っています。

今後、新成人自らが実行委員会 を作り、計画する成人式もいいか と思います。

特に中学校等の恩師に対する親 しみが見受けられ、式典の中に何 かを取り入れることがあれば具体 的に検討したいと思います。

議員 晴れ姿で式典に臨む方や、 やんちゃな格好の成人もい るかもしれませんが、それも式典 次第で変化するのではないかと思 います。

人生のスタートラインに立ち、 本町にとどまってもらいたい若者 の為にも力を入れていいのではな いでしょうか。

 強い要望がありました。

リーダー的な役割を誰が果たしてくれるのか、来年の成人式の対象者達の話を聞きながら改革していまたいと思っています。

ここ数年、ニューイヤーコンサートを開催していますが、お金をかけていると思います。

一工夫すれば、成人式にも繋がるので、若い職員でアイデアを共有し、川崎町らしさを出すことを願っています。

町長 ニューイヤーコンサートを 連携するのも一つの方法と 思いますが、かなり時間が長くな るのでは。一回新成人の皆さんと 意見交換させていただきたい。

送員 ソリストとピアノのジョイ ントでいいのです。

目に余る式典がテレビで放映されますが、熊本県阿蘇佐藤義興市 長が前年度ヒットした曲を歌っています。

2015年はTOKIOの宙船、2016 年はAKB48の365日の紙飛行機 と庶民的な声で快くテレビから聞 こえて来ます。

身近な人のパフォーマンスでも 心に響く物であればいいのです。

町長 どういう方法が心に響くか、ずっと思い出に残る一生に一度の成人式になればと十分 気持ちは持っています。皆さんのお知恵をお借りしたいと思います。

成人式は中学校区毎の写真撮影をしていますが、 小学校から町外の中学校へ行き、 本町の成人式に参加した方達の記 念撮影の配慮はどうなっているのでしょうか。

町長 小学校から町外の中学校に 転校され川崎町で成人式を 迎える方の為、受付の段階で「ど この中学校と一緒に写真を撮りま すか」と本人の希望を聞いて対応しています。

問 優しいまちづくり一環 として移動図書館を

圏 サービス向上の方策を検討

高齢化に伴う自宅療養や障がいになられても読書にいそしみたい方は沢山いると思います。優しい町づくりの一環として、移動図書館をしたらいいのではと思います。

教育長 パピルスホールが開館した 折、移動図書館をする構想 はあったのですが、車の購入、車 庫の建設、運転士の費用の問題で 中止になりました。

公立図書館は高齢者に対する サービスの充実の為、宅配サービ ス等に努めなさいとなっておりま す。高齢になると、出向くのに交 通の便や体力的な面で読みたくて も読めない。こんな悲しい事はあ りません。

現在、サービス向上の方策について検討している現状です。



問 町職員による草刈りを 廃止すべきでは

管 町職員の負担減を検討

議員 役場の事務職員等による町 内一円の草刈りは、専門外 であり、慣れない作業で危険で す。

作業資格もなく、体力と時間の消耗で熱中症の発症や、部下に安全管理の徹底をするはずの管理職の機具による大けがの報告がありました。

業者に比べ公務員の人件費その他は、高額なうえに仕上がりも能率も悪く、本来の役場業務に大きな影響が生じていると思われます。

また、他町村と比較して職員の 数が多すぎると指摘を受けている 中で、本業での住民サービスへの 影響を考えると、リスクの大きい 職務である草刈り作業は廃止し て、専門業者に任せるべきだと思 いますが、いかがでしょうか。

町長 専門外ではあるが、財政的 に少しは町に貢献できたと 思っている。

また、地区からの除草の要望も 多く、外注すると財政的に厳しい が、できるだけ職員の負担を減ら し、その他の対応で草刈りを行う など、指摘のことについて検討し ていきたいと思います。

10



▲草刈り作業をする職員

問 中学校の統合問題は

圏 現川崎中で実施予定

教育問題検討委員会から統合を目指し、その校舎は役場を中心とする付近に構築する答申を受けたにも関わらず、現川崎中学に統合校舎を建設することは疑義が絶えません。

31億円もの概算計画ならば、いずれ来るであろう小中一貫校も 視野に入れ、防災センター、町備 蓄倉庫などの建設を統合による空 きのある大峰、安宅小学校または 中学に設立して有効利用し、その 土地を中心に川小と併設で新中学 の設立を目指すのが児童生徒の将 来的にも有益であるはずです。

慰霊塔前の土地、青少年ホーム

の移設などで必要面積は確保でき、付帯して3つの体育館があるわけですからコストも安くなり、同じ31億も使うなら将来の一貫校問題にも即応できる計画すべきではないでしょうか。

また、地域説明で比較検討資料 も示さず、候補地は決定している から質疑しないようになどと呼び かけているのも納得がいきませ ん。

教育長 4カ所ほど候補地として検討したが、川小付近は川があるから危険で面積の不足がある。

町長 指摘の点は理解するが、民 有地の購入などは難しい状 況で、運動場の確保も必要なた め、現在の計画を理解いただきた



問避難訓練の実施計画と避難所の周知は

圏 検討して進めていきたい

議員 住民の安全確保のための避 難訓練の実施計画や避難所 等の周知はどうなっていますか。

町長 小中学校、保育園や幼稚園 等の施設は、計画的に避難 訓練等を実施しています。

住民への避難所の周知は、平成 27年4月に発行した防災マップの 改訂版を、行政区を通じて配付し 住民への周知をしています。

高齢者の方は、防災マップ を開いたり場所の確認等が、 なされていないのが現状です。

地域ごとに放送でお知らせする などの配慮等はできないでしょう か。

防災 災害警報が「注意」か 管財課長 ら「警戒」などになれ ば、防災無線、防災メール・エリ アメールなどで周知するというこ ともあります。

行政区においても、日ごろから 対応していただくように周知も同 時に行っています。

災害に関する避難情報をよりわかりやすく住民へ周知するとともに、住民向けの避難訓練や災害対応訓練の実施をお願いできませんか。

防災 今後、対応を検討して 管財課長 進めていきたいと思っ ております。

問 AEDの設置と 講習会の実施は

層 開催していきたい

職員 町内でAEDを設置しているところは何カ所ありますか。設置しているところでは、AED使用の講習会はしていますか。

町長 庁舎をはじめ町が管理している施設や小中学校など20カ所に設置をしています。

講習会の実施は、AEDを設置 している愛光園などの施設や小中 学校ごとに取り組みをしています。

(本りますか。) 今、設置しているところで 屋外に設置しているところ

防災 屋外にはありません。 管財課長

講員 コンビニでの使用は24時間可能です。休日や夜間に開いていないところでは使用ができません。

屋外型収納ボックスに移設を し、常時使用できるようにしてい ただけませんか。

町長 これは検討の余地があろう かと思います。

議員 緊急時に備え限られた人だけでなく誰でも使えるように、町としてもAED講習会の開

]長 機会があれば、講習会も開 ばしていきたいと思います。

催が必要ではないでしょうか。

間 病児保育事業への 支援を

層 連絡票の助成を検討

子育て支援事業の中に、病 現保育事業があります。

子育で中のお母さんにとって、 仕事と育児の両立はとても大変で す。本町での取り組みは難しいで しょうか。

町長 子育て支援につきまして、本町の重点施策として認識しております。

病児病後保育の充実は、ぜひ必 要と考えていますが実施するに は、さまざまな課題がございます。

・ 田川市に「ひまわり」という病児病後児保育室があります。田川市以外の人が利用する場合は、利用料金は倍になります。

子育て世代の負担軽減のため、 文書料か利用料の一部負担をして いただけませんか。

町長 ご質問の文書料や利用料の一部を負担につきましては、郡内では香春町が連絡票1.080円の助成を行っております。

本町としても、来年度から連絡 票の助成については、検討してい きたいと思います。

※その他、中学生議会について質問をさせていただきました。 詳細については、議事録を閲覧してください。



問 子ども議員の要望は 実現されたのか

-気に解決しませんが努力しています 答



▲子ども議会で発表する子ども議員

平成20年4月からスター トレた子ども議会も今年7 月22日の議会で16回目になりま した。

7月議会では11月に実施され る第17回議会の内容が決まりま した。各学校の児童4名が、代表 で分科会活動をテーマをきめて実 施します。

- ○池尻小『池尻を安全安心な地域 にしよう。公園と通学路を中心に。 ○川崎東小『ふるさと再発見、私 たちの川崎町。』
- ○真崎小『ふるさと真崎、いいと こ発見、豊かな真崎。』
- ○川崎小『決まりを守り、仲良く 助け合っていく川崎っ子。』

11月の子ども議会まで約4ヶ 月間、幅広く動いて調査し発表さ れます。

これまで子ども議会の要望提案 で実現された事項はありますか。

池尻小学校のバリアフリー の問題もあります。

今回、大規模改修する際、職員 室を一階に下ろして、出来るだけ 機能的な学校にできるようにしな ければいけないと思っています。

また、通学路の問題も道幅が狭 い箇所もあります。

一気に解決する事はできません が努力します。

また、公園の指摘もありました が、大人と子どもが一日中楽しく 遊べるような施設を現在、検討中 です。

問 廃材を活かして 物づくり

圏 若い人がいないので 厳しい

竹林を活かし太鼓を製作し たり、いろんな物づくりを して、観光地になった地域があり

川崎町も竹林が多くありますの で活性化につなげてはどうです か。

私も竹の有効活用をする事 ができないか調査をした事 があります。

八女市では畑の肥料にしたり、 稲を植えるときの苗箱に活用して います。

しかし、川崎町の現状では竹を 出したり、整備する若い人がいな いので厳しい状況です。





問 耕作放棄地の再生対策を

圏 地域の担い手を育成し、 町内農地の維持管理に勤める

り、また、高齢化も進んで いますが、本町の基幹産業である 農業において、農産物を生産する ための農地を、どのように維持管 理していくのですか。

また、年々荒廃した耕作放棄地 が増加しているようですが、有害 鳥獣(イノシシ、シカ、アナグマ等) も増加の一途をたどっています。

現在、補助金により金網の設置 による対策をしてますが、今後、 どのような多面的な対策を考えて いますか。

農業者の高齢化、後継者不 足により、農家人口は減少 の一途をたどっており、耕作放棄 地は、調査開始の平成22年度は5 ヘクタールでしたけれども、現在は 10ヘクタールに増加をしています。

現在、農地の利用権設定、農地 中間管理機構の斡旋、また補助事 業等による中山間等直接支払交付 金を活用して、耕作放棄地の拡大 防止に取り組んでいます。

今後は、新規就農研修生の受け 入れや、耕作放棄地を活用しての 農業生産等を目的とした専業農家 で組織する農業法人の設立、青年 就業給付金等、補助金を活用し た地域農業の担い手の育成を行 いながら、町内農地の維持管理 に努めていきます。

有害鳥獣の対策としては、罠の 貸し出しや、平成23年度から補助 金を活用した金網の貸し出し事業

により、町内で延長61キロメート ル設置を行っています。

また、有害鳥獣駆除員により猪、 鹿1頭駆除につき8,000円の交付 金が支給されていましたが、平成 28年度より単費、川崎町独自で 2.000円を追加し、1頭につき1 万円を支給しています。

交付金については、駆除員の活 動経費の負担を少しでも減らせる よう、国、県へ増額の要望を行っ てまいります。

問 社会教育施設の管理 運営状況は

圏 緊急度の高い施設から 改善を行う

社会教育施設には、数多く の施設を維持管理されてい ますが、施設の老朽化が進み、利 用者が安全で機能的に使用できて いるのか教育長にお尋ねします。

川崎町の社会教育の各施設 は、老朽化が進んでいるの は実情です。運動公園のテニス場 や相撲場の屋根の改善工事につい

ては、効率のよい補助金や交付金 を探しているところです。

また、B&G海洋センターの雨 漏り、これも早急な対策が必要で あり、29年度に屋根の全面の張り 替え工事を計画し、補助金要望書 をB&G財団に提出しています。

利用者が安全で快適に使用出来 る施設にしたいと思っています。

どの施設も老朽化が進み、 その中には30年を超える ものもあるようです。

このような状況で利用者が安全 で機能的に使用できるとは思えま せん。住民の多様なニーズに対応 できる管理をしていただきたい。

体育施設の備品においても、か なり古いものもあるようですが、 備品の整備状況についてお尋ねを いたします。

)施設も古いけれど備品も古 く、大会のたびに他町から

借りていた状況でしたので、今後 も備品の整備をしていきたいと考 えています。



13



3中学校統合計画、町民の理解は

4地区で説明会をした 問題はないと認識

このたび住民と議会に提示 された「現川崎中学校に統 合 という案は、果たして十分に 比較検討した結果だったのか疑問 に思います。

川崎中学校以外に6カ所ほど検 討したということですが、他の案 はどうだったのか。

10年後、20年後、30年後の 中学校の生徒数は大幅に減少する と考えられますが、それらは考慮 に入れたうえでの案なのですか。

用地の検討は、田原地区と 中心部である東川地区など を検討しました。

しかし、新たに用地を確保する には多くの財源もいるし、時間的 なことなども考えると「現川崎中 学校に統合 | が望ましいというこ とになりました。

中学生は、平成28年度が458名、 10年後の平成37年では90名ほど 減って370名近くになります。

しかし、学校設置基準というの があり、図書館や体育館が必要で あり、必要な校地面積は変わりま せん。

「川崎中学校に統合」案に ついて、①利便性に関して 比較がどうだったのか②スクール バスの必要性③仮校舎は必要なの かをたずねます。

利便性につきましては、広 い交通アクセスを考慮して 欲しいという要望が出ております ので検討します。

スクールバスについては、小学校 では4km以内、それから中学校では 6km以内という規定があります。

しかし、今の交通状況とか通学 の安全性、体力面からすると、ス クールバスのことについても今後 検討しなければと考えております。

仮校舎は、川崎中学校につきまし ては必要になると考えております。

町長が5年前に現職だった 頃、取り組みを考えなかっ たのですか。

そのときにスタートしておけば、 十分論議もできたし、慌てて急ぎ の計画を進めなくてすんだのでは。

前々期1期町長をさせてい ただきましたが、そのとき にも川崎の中学校も同じように統 廃合の問題を検討せざるを得ない 時期が来るという認識は持ってい ました。

今は、町民の皆さんはもう理解 をしていただいていると認識をし ていますので、この案を進めてい きたいと考えています。

問 新制度「コミュニティ スクール」の効能は

圏 学校づくりを地域の人 たちと取り組む

|新制度「コミュニティス クール | の内容と効能をた ずねます。

また、年に1度の評価というの はどのような表現、内容でされま すか。

保護者や地域住民が参画 し、地域とともにある学校 づくりということで、これによっ て子どもが抱える問題を地域ぐる みで解決するという、そういう仕 組みを構築し、よりよい学校教育 の充実を図るものです。

評価の方法などは今後の検討と します。







問 入学準備金の前倒し支給を

圏 今後の検討課題としたい

本町の入学準備金の申請時 教えてください。

申請時期は、入学式後で受 給時期は7月上旬。受給者 数は小学校22人、中学校45人です。 教務 金額は、小学校1年生1万

|課長|9.900円、中学校1年生2 万2900円です。

入学準備金の受給が、入学 後では制度の意味が減じる と思います。3月支給はできませ んか。

| 教務 | 今の制度では、前年の収入 |課長||が確定する6月をもって認 定作業にはいります。

前倒しで支給している市町村も ありますが、今後の検討課題にさ せていただきたい。

中学入学の場合、入学時に、 制服や通学鞄、ジャージな ど総額7万円から9万円かかりま す。支給金額では、不足しますが、 差額の助成はありませんか。

今のところありません。



問 子ども食堂の助成は

圏 財政状況も考慮しながら 検討する

先日、すみれアクティブセ ンターから、子ども食堂開 設の相談がありました。民間主導 で運営される場合、町として何ら かの支援はできませんか。

開設が計画される場合につ いては、財政事情等も考慮 しながら検討したいと思います。

問 子どもの権利条例 制定は

圏 29年度中の制定を 目指したい

子どもの権利条例制定の進 捗状況と検討内容を教えて いただきたい。

|川崎町子どもの権利条例策 定委員会の委員を12名で設 置をし、6月30日に辞令交付式及 び第1回委員会を開催、8月、10 月に開催し、今後も慎重に会議を 重ねながら平成29年度中の制定を 目指して進めていきたい。

問 アクティブ・ラーニング の取り入れは

圏 研究授業の実施を予定

2020年度小中学校で順次 導入されるアクティブ: ラーニングを本町でも試験的に取 り入れてみたらと思いますが、い かがですか。

現在、福岡教育大学の西野 先生など講師を招くととも に、学校の先生が教育大学に行っ て、研修等も積み重ねております。 11月18日の14時から川崎小学校 で研究授業を行います。

問 障がい者の雇用対策は

「De・愛」と「穀×極」で検討

役場の障がい者雇用の人数 と雇用率はどうなっていま すか。

雇用人数は6人で障害者雇 用促進法における障がい者 雇用率は、3.47%です。

経済活動を通して、なにか 自分のできる仕事をして地 域と交流することが、社会の一員 として生きていることを認め合う ことに繋がりますが、地域との接 点、交流の場を設ける考えはあり ますか。

「De・愛」や「穀×極」に、 **| 瞳がい者の雇用ができない** か検討をしているところです。

もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



川崎町初の自主防災組織

総務常任委員会

本町で初めて結成された櫛毛自主防災会について、 区長と会計担当の方にご出席をお願いし、調査を行い ました。

「自分を守る自助、助け合う共助、そのあとに公助がくる、難しく考えていても進まない、まずは作って、できることからやろう。これを作ることで、自分達の命は自分達で守るという意識付けになれば。」とのお言葉が印象に残りました。

その後、宝くじ社会貢献事業(コミュニティ助成事業)の助成金を受け、様々な備品を購入されるそうです。

ケガに注意しながら、備品の使用練習や防災訓練を 実施されるよう提案しました。

職員数及び義務的経費等の推移

平成5年は、町民数22,530人に対して職員は337名、町 民66.9名につき職員1人、平成28年は、人口17,825人に対 して職員235名、町民75.9人につき職員1人となってい ます。

普通会計上の義務的経費は、財政健全化を進めた 平成13年からの5年間で、人件費3億5,051万円減、公債 費2億8,909万円の減となっていますが、住民サービス に直結する扶助費については、平成4年と平成27年を 比較すると、12億円近く増えています。

今後も長期的な展望を見据えた職員採用、再任用を 要望しました。

トンネル活用の先進地を視察

熊本県高森町は、人口約6,700人、175.06kmの農山村地域で、熊本地震では大きな被害はなかったそうです。

昭和48年に高森・高千穂間を結ぶ鉄道工事が始まりましたが、トンネル採掘中の大量出水により工事は中

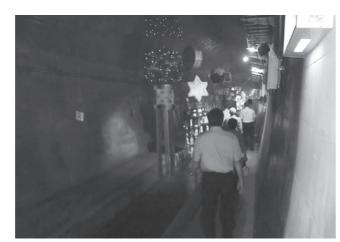
止となり、平成5年から湧水トンネル公園として整備を 開始、七夕まつりやウォーターパール、クリスマスファ ンタジー等様々なイベントを開催しています。

トンネル内は年間を通じて17℃と涼しく、入園者も7、8月に集中していたので、夏期以外の入園者増を目指し、世界初のトンネル内常設型プロジェクションマッピングを平成27年12月に設置しました。

翌年1~3月は前年比約1.8倍の入園者数を記録し、5月の大型連休や夏休みにむけ期待が膨らんだ矢先に地震が発生、安全確認のため一時休園し、5月2日から営業再開したものの、入園者は大きく減少しているそうです。

現在は、高森町が中心となり南阿蘇地域への誘客を進め、復興支援バスツアーや、迂回路のグリーンロード 周知パンフレット作成等のPRを行っています。

熊ヶ畑トンネルは、経緯も立地条件も違いますが、今 回学んだ多くのことを活かしつつ、今後も有効利用に ついて調査研究を進めていきます。



▲高森町湧水トンネル内

通学路の安全確保を



▲池尻地区の通学路

なかなか進まない児童の安全通路確保の整備を危惧 し、池尻地区通学路の歩道の現状について現地調査に 行きました。

豊州団地や東洋団地付近から学校へ向かう歩道が、 非常に狭く危険であることを確認しました。歩道とみ なされる場所の幅が、10センチ以下のところもあり、こ れは歩道としての使用が困難な現状でした。

この調査前にも、池尻小学校校長より要望があり、教務課、建設課、池尻小学校で現地確認し、道路に注意喚起の言葉を入れたり、消えかかった停止線の線を引き直すなど、早急な対応を求めました。

また、三ヶ瀬交差点付近にも大変危険な場所がある ことを確認し、後日委員会として歩道を設置するなど 対応策を実施してもらうよう要望書を提出しました。

また、真崎保育園付近の交差点での事故が多発しているため、改良を以前から要望しており、カーブミラーと道路標示は8月末か9月の発注工事で対応するとのことでした。

一旦停止を守らない車が多く、これが一番の原因と 見られるので、交通安全担当の防災管財課と通学路を 担当の教務課に、取り締まり強化などを警察にも協力 してもらえないかお願いしました。

次にスクールバスの要望について、安真木地区の中学生の通学対応について、教育委員会へ要望書を提出していた回答をいただきましたが、現在運行しているコミュニティバスのダイヤ変更は大変難しいとのことでした。

しかし、困っている学生が現実にいるので、今後のダイヤの改正の折には、高齢者と学生がコミュニティをとれる場所として考え、両立できる良い案を練ってくださいとお願いしました。

この課題は、統合を目指す中学校のバスでの送迎に ついても影響をきたすと思いますので、慎重に審議を 要請しました。

川崎町民運動公園の土壌整備

川崎町民運動公園の土壌不備について、利用者より 多くの意見があり、ソフトボールの公式試合にも使用 されているグラウンドでもあるので、大人子どもを問

民生文教常任委員会

わず、安全で楽しくプレーできるよう、ピッチャーマウンド付近の土壌整備を早急に実施してもらうよう要望書を提出しました。

田川郡内のこどもの貧困等の現状を把握

状況を把握するため、田川児童相談所に伺いました。 所長のあいさつの折、川崎町子育て支援センターと連 携がとれているので、大変助かっていますとの報告が ありました。

児童相談所は、児童福祉法に基づき、すべての児童が 心身ともに健やかに生まれ育成されるよう、また、児童 がその持てる力を最大限に発揮し成長できるよう、児 童及びその家族等を援助することを目的に設置されて いる相談援助機関です。

相談援助活動を行うときには、児童の置かれている 状況等を的確に把握し、それぞれの児童やその家庭に とって最も効果的な処遇を行う必要があり、市町村、福 祉事務所、学校、警察、家庭裁判所あるいは医療機関や 児童福祉施設など、児童の福祉に関係するあらゆる機 関や団体と密接に連携し、その支援や協力を得て活動 にあたっているそうです。

田川児童相談所の所管は田川市郡、飯塚市、直方市、 嘉麻市、桂川町、小竹町となっており、平成26年度の相 談受け付けをした中では、養護相談が半数近くを占め ています。

また、虐待相談は全体の7.3%を占めており、虐待種類別に見ると、身体的虐待が44.3%、保護の怠慢、拒否、ネグレクト32.8%、心理的虐待18.1%、性的虐待5%となっています。

貧困者が田川で一番多いとされる川崎町の地域的特徴としては、生活保護家庭における経済的困窮に起因するものとありましたが、児童相談所とは子どもを守るということが一番の前提なので、その他にも公的機関が関わっていないところや、相談に来ていない子どもを守る方法を模索しなければとの意見が委員会から出ました。



▲田川児童相談所での研修

17



農業委員会の事務に関する調査

建設産業常任委員会

農業委員会は、主に次の3つの事務を担当しています。 1. 農地の所有権移転及び賃借権等、権利の設定もしく は移転の許可

農地法第3条に農業委員会の許可を受けなければな らないと定められています。

農地を取得するには、色々な要件がありますが、そ の1つに取得する農地を含め原則4,000平米以上の 農地を所有していないと農地を取得することは出

申請が受理されれば地元農業委員と現地調査に行 き、農業委員会で許可、不許可の決定を行います。

2. 農地転用案件への意見具申

農地を宅地やその他の地目に変更する場合、農地転 用の申請が必要になります。

この申請は、県知事の許可が必要です。

申請があれば、県に相談、申請できる案件だと確認 できれば、申請者より書類を提出してもらいます。 申請書類の提出があった場合は、地元農業委員と現 地調査を行い、農業委員会で許可相当、不許可相当 の決定をし、県に意見書を提出します。県で審査さ れ農業委員会に許可、不許可の決定が来ます。

3. 遊休農地の調査、指導

農地法第30条第1項により年1回、利用状況について 調査を行うこととなっており、区域内の農地の利用 状況を調査します。農地が遊休化している場合、所 有者に対し指導を実施します。今後の意向調査を行 い、それに基づき農地の集積、遊休農地の発生防止・ 解消に向けた取り組みを行います。

平成27年度に農業委員会等に関する法律の改正

現農業委員の任期は平成29年7月19日までであり、新 制度へはその後移行します。

現行の公選制から市町村長が議会の同意を得て、任 命するようになります。

委員構成も現在17名の農業委員が、新制度に変わる と農業委員の定数上限が14名、新しく設置される農地 利用最適化推進委員の定数上限が6名となります。

農業委員と農地利用最適化推進委員は一体となり、 農地利用の集積・集約化及び耕作放棄地の発生防止・ 解消等の活動を連携して取り組んで行くこととなり ます。

町営住宅の空き屋および町営住宅内の公園の状況調査

町営住宅の空き屋状況ですが、現在空き屋になって いても老朽化等により入居停止になっているところも あるそうです。

入居を希望する方は、年2回実施される抽選により入 居の順番が決まるとのことで、毎回約20世帯の方が抽 選に来られます。

しかし、入居される方が団地を指定されることも多く、 全ての希望者が入居されるということはありません。

本委員会より、入居停止になっている団地は、速や かに撤去した方がよいのではないかと言及いたしま した。

町営住宅内の公園は、41団地中17団地に設置され、公 園の遊具は15種類あります。

遊具の点検は専門業者により年1回実施され、それに 基づき補修、撤去等、地元の意見も聞き維持管理を行っ ているそうです。

現地にて東洋団地と三ヶ瀬改良住宅の空き屋状況 と、新修団地内と大豊団地内の公園を確認いたしま した。

高層団地は階段の上り下りだけでも大変で、階段も 狭く危険でした。高齢化も進んでおり高層階は入居希 望の方も少ないとのことでした。

公園は、夏は暑く、草が生える等、子どもが遊べる状 態ではありませんでした。

委員会と致しましては、子どもの遊び場の維持管理 について、町と地域住民が連携し、協力を行っていただ きたい。

遊具に関しても行政区の方々の意見を聞きながら撤 去するもの、補修するもの等危険防止に努めていただ き、職員の町営住宅パトロールの際、公園のチェックも 合わせて行っていただき、危険箇所など早めの対応を していただくよう要望しました。



▲団地内の公園状況



▲公園游旦

ペーパーレス議会の先進地を視察

議会運営委員会

議会運営委員会では、タブレットを活用したペーパーレス議会の先進地で ある神奈川県南足柄市と寒川町を視察しました。主な内容は次のとおりです。

- 印刷、製本作業が無くなり、人件費も含め、議会全体で年間91 万円のコスト削減が図れた。(寒川町)
- 資料の保管場所や廃棄コストの削減ができる。
- 議案等の急な差し替えが発生した場合、議案を預かって差し 替えする必要がなく、クラウドに登録されたデータを変更す るだけでよい。
- 資料に図表や写真をカラーで添付することで説明の理解度が 深まる。
- ・いつでもどこでも資料の閲覧ができ、議会活動に活かせる。
- ・資料の検索、閲覧が容易にできる。
- ・個人ごとに閲覧制限ができ、セキュリティの確保ができる。

本会議以外 の活用状況

導入効果

- ・事務局から各議員への通知(会議通知、災害情報、イベント案 内等)
- ・行政資料の閲覧(各種計画書、マニュアル、例規集、広報紙など)
- ・議会資料の閲覧(本会議や委員会の資料)



今回の視察では、ペーパーレス議 会導入時の課題やメリットについ て、貴重なお話しを聞く事ができま した。今回の研修で学んだことを今 後の委員会活動に役立てていきたい と思います。

川崎町議会全員

ペーパーレス議会模擬体験の研修会を開催

議員全員と町三役や町職員を対象に、東京インタープ レー株式会社の金氏を講師に招き、タブレットを活用した ペーパーレス議会の模擬体験のための研修会を開催しまし た。研修会には、今までタブレットを触ったことのない議 員も参加しましたが、講師から丁寧な説明をいただいたお



かげで、基本的な操 作ができるようにな りました。また、他 町村のタブレットの 活用事例やペーパー レス議会を導入した 場合のメリットにつ いて説明いただき、 大変ためになる研修 となりました。

香春岳の採掘場の現地視察を実施

議員10名、議会事務局職員3名の計13名で 香春岳の採掘現場の現地視察を行いました。 当日は、香春鉱業株式会社の職員の方に案内 していただき、すり鉢状になった広大な石灰 石の採掘現場を大きな重機やダンプが実際 に作業している様子を視察しました。



▲香春岳にて

19

議会広報編集を研修

議会だより編集特別委員会

委員のスキルアップのため、他の議会の取り組みを研修し ようと、全国町村議会議長会広報コンクールで入賞した大刀 洗町議会へ先進地視察研修に行きました。

編集方法やタイムスケジュール、役割分担、レイアウトや記 事のまとめ方などについて意見交換を行いました。

特に、大刀洗町議会広報一般質問内の「議員のつぶやき」 コーナーなど工夫がみられ、住民目線の広報づくりを進めて いると感じました。

今回、議会だより編集特別委員会としては、初の試みで研修 に行きましたが、これからも他議会の良いところを取り入れ、よ り親しまれ、伝わる議会だよりを作っていきたいと思います。 ▲大刀洗町での議会だより研修







光華保育園 ぱんだ・きりん組 吉村 由美子先生



光華保育園のお友達みんな良く頑 張りましたね。子どもたちひとり ひとりの成長を感じることができ た運動会でした。かっこよかった です。

Q2. 園児たちの様子は練習と 本番でどうでしたか?

夏の暑いときから毎日練習を頑 張ってきました。練習の成果が見 られ本番は、みごと大成功でした。

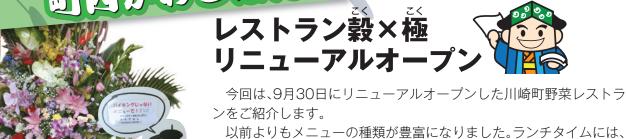


親子競技や遊戯を通して親子の スキンシップがはかれ、今までに ない子どもたちの笑顔が見られ 最高にうれしく思いました。

●Q4. 園児や、親御さんと一緒に行事 をして得たことは?

日頃から保育園の行事にご協力、 ご参加いただきありがとうござ います。行事を通して協調性や頑 張る力が子どもたちの自信に なったと思います。

町内かわらばん



以前よりもメニューの種類が豊富になりました。ランチタイムには、 穀×極和膳・カレー・パスタ・ベーグルサンド・鉄板ランチがあり、いろ いろな年代に対応したメニューとなっています。カレー・パスタには季 節の野菜を取り入れ、四季折々の味を楽しむことができます。鉄板ラン チにはステーキもあり、少し贅沢なランチを楽しむことができます。

他にも、カフェタイムができ、コーヒーやスムージー・パンケーキ・デ ザート等種類豊富にあり、野菜のパウンドケーキはテイクアウトもで き、今まで以上に気軽に利用しやすくなっています。

今まで利用していた方も、まだ来店したことのない方も、このリ ニューアルオープンを機に、地元の身近なレストランをより気軽に利用 して、川崎町の活性化や、地元の味を堪能していただきたいと思います。

問い合せ先:川崎町野菜レストラン 49-5959



↑オープンに来店されたご夫婦

議長 副 委員 長 員 員 長 長

小寺大千松手樋 見 田田谷葉岡嶋口 月

春加久真

卓響清子代美隆

[感動の秋九月]

真夏のオリンピックに続いて開催された パラリンピックの感動に心躍らせた九月。 彼岸花の染み入る紅いに豊かになった心。

そしてふるさとの町はこれから文化の香り濃く包まれてゆく秋本番を迎えます。 9月定例会議の報告は秋の色合いを少しでも出せたらと工夫をしてい ますが、時節は秋だと言うのに蒸し暑い夏日の連続に戸惑いながらの編 集作業が続きました。

先日は全国でも「議会だより編集、発行」において優秀の評価が高い「大 刀洗町」に先進地視察を敢行、おおいに研鑽を深めて帰って参りました。 今後の編集発行に役立たせるべく努力を重ねて参ります。

